

家庭学習のやり方【英語】

※課題に取り組む前に必ず最後まで読みましょう※

①授業ノートを用意しましょう

・家庭学習で使っているような大学ノートを1冊用意しましょう。今後、授業で使う予定です。

・ノートは以下のように使ってください。



見開き1ページの写真

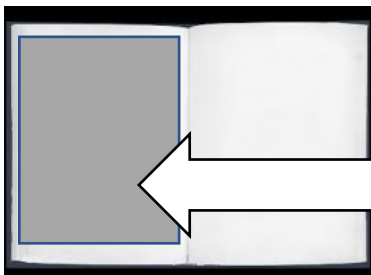
・写真のように、見開きで使っていきます。

例) 見開き1ページ目……Unit0

見開き2ページ目……Unit1 Part1

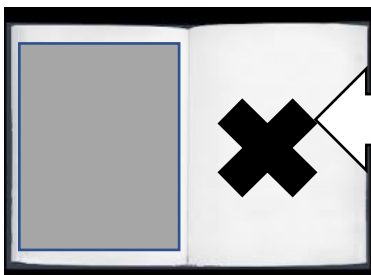
見開き3ページ目……Unit1 Part2

というように使っていきます。



・4月8日に配布した本文の単語の意味調べや本文を書き写したプリントを貼ります。

ここ（左側のページ）にプリントを貼ってください。



ここ（右側のページ）には何も書いたり貼ったりしないでください。授業が始まったら使います。

ノートの使い方のまとめ

- ・ノートは見開き1ページで使っていく
- ・左側のページには、4月8日に配布した教科書の単語や本文を書き写すプリントを貼っていく
- ・右側のページには何も書いたり貼ったりしない

②教科書の本文の内容理解の時間には**東京書籍のサイト**を活用しましょう

- ・このサイトでは単語や本文の音声を聞くことができます。
- ・インターネットで以下の手順でサイトを閲覧してください。

単語・教科書本文の音源を聞くことができます

- ①インターネットで【東京書籍 英語 音声】を検索。
- ②「【東京書籍】教材 音声教材 NEW HORIZON English Course リスニング CD」のページをクリック。
- ③画面中央辺りの「サンプル音源はこちら」をクリック。
下にスクロールして「リスニング CD3」の音声を聞く。
- ④単語や本文の音声を聞いて練習しましょう。

③文法の解説を見たり問題を解いたりするときは**e-ライブラリ**を活用しましょう

- ・このサイトでは文法の理解を深めることができます。また、リスニングの問題もあります。
- ・インターネットで以下の手順でサイトを閲覧してください。

e-ライブラリで文法の理解を深めましょう

- ①インターネットで【e-ライブラリ】を検索。
- ②5月7日に学校で渡された e-ライブラリの ID やパスワード等を入力。
- ③「しっかり学習」を中心に学習しましょう。
- ④他にも楽しみながら学習できるコンテンツがたくさんあります。様々な課題に取り組んでみましょう。

Unit0 Countries around the World (教科書 4・5 ページ)

◇課題◇ 教科書 4 ページの本文の内容を理解しよう
(各自で用意したノートの見開き 1 ページ目を使う)

Step 1

4月8日に配布した Unit0 の本文プリントに書き出した単語とその意味を確認する **【東京書籍のサイトの音声を活用】**

- ① 声を出して単語を発音してみよう。
- ② 声に出したり、書いたりして単語やその意味を覚えよう。

Step 2

Step1 で使った Unit0 のプリントに書き写した教科書本文の日本語訳を考え、プリントに書き込む
【東京書籍のサイトの音声を活用】

- ① 教科書の本文を音読してみよう。
- ② 分からない単語は辞書を使って調べよう。
- ③ 文の前から順に意味を考えていこう。

日本語訳の記入の仕方

Hello, everyone. I'm Ito Kota. I'm
こんにちは、みなさん。私は伊藤光太です。 私は
going to talk about Canada.
話す予定です。 カナダについて

Step 3

ノートにまとめる

- ① ノートの見開き 1 ページ目の左側のページに Unit0 の課題を貼ろう。

Unit1 Pop Culture Then and Now Part1 (教科書 6・7 ページ)

◇課題◇ 受け身（受動態）を理解しよう

Step 1

4月8日に配布した課題 (Unit1-1 受け身) の文法プリントの説明をもう1度確認する

- ① 穴埋めになっている問題の英文を声に出して読んでみよう。

Step 2

教科書7ページの【基本練習】【Listen】【Write】に取り組む
※【Listen】の課題は【東京書籍のサイトの音声を活用】

- ① 例を参考に【基本練習】の1～3の英文を完成させよう。
- ② 完成した英文を声に出して言ってみよう。
- ③ 教科書の空いている所に英文で書いてみよう。
- ③ 【Listen】に取り組もう (東京書籍のサイトに音声があります)。
- ④ 【Write】に取り組もう

Step 3

ワーク8 1ページの1の問題を解く

- ① ワーク8 1ページの1「受け身の文」を解いて丸付けをしよう。
- ② 難しかったり分からなかった問題には、自分が分かるようにチェックを入れて、あとで先生に質問できるようにしておこう。

Step 4

e-ライブラリを活用して理解を深めよう

- ① 受け身（受動態）の解説を見たり問題を解いたりして理解を深めよう。

Unit1 Pop Culture Then and Now Part1 (教科書 6・7 ページ)

◇課題◇ 教科書 6 ページの本文の内容を理解しよう
(ノートの見開き 2 ページ目を使う)

Step 1

4月8日に配布した Unit1Part1 の本文プリントに書き出した単語とその意味を確認する **【東京書籍のサイトの音声を活用】**

- ① 声を出して単語を発音してみよう。
- ② 声に出したり、書いたりして単語やその意味を覚えよう。

Step 2

Step1 で使った Unit1Part1 の本文プリントに書き写した教科書本文の日本語訳を考え、プリントに書き込む
【東京書籍のサイトの音声を活用】

- ① 教科書の本文を音読してみよう。
- ② 分からない単語は辞書を使って調べよう。
- ③ 文の前から順に意味を考えていこう。

日本語訳の記入の仕方

Hello, everyone. I'm Ito Kota. I'm
こんにちは、みなさん。私は伊藤光太です。私は
going to talk about Canada. 私は
話す予定です。 カナダについて

Step 3

ノートにまとめる

- ① ノートの見開き 2 ページ目の左側のページに Unit1Part1 の課題を貼ろう。

Unit1 Pop Culture Then and Now Part2 (教科書 8・9 ページ)

◇課題◇ 受け身（受動態）の疑問文を理解しよう

Step 1

4月8日に配布した課題（Unit1-2 受け身の疑問文）の文法プリントの説明をもう1度確認する

- ① 穴埋めになっている問題の英文を声に出して読んでみよう。

Step 2

教科書9ページの【基本練習】【Write】に取り組む

- ① 例を参考に【基本練習】の1～3の英文を完成させよう。
- ② 完成した英文を声に出して言ってみよう。
- ③ 教科書の空いている所に英文で書いてみよう。
- ④ 【Write】に取り組もう

Step 3

ワークの81ページの2の問題を解く

- ① ワーク81ページの2「否定文・疑問文」を解いて丸付けをしよう。
- ② 難しかったり分からなかった問題には、自分が分かるようにチェックを入れて、あとで先生に質問できるようにしておこう。

Step 4

e-ライブラリを活用して理解を深めよう

- ① 受け身（受動態）の解説を見たり問題を解いたりして理解を深めよう。

Unit1 Pop Culture Then and Now Part2 (教科書 8・9 ページ)

◇課題◇ 教科書 9 ページの本文の内容を理解しよう
(ノートは見開き 3 ページ目を使う)

Step 1

4月8日に配布した Unit1Part2 の本文プリントに書き出した単語とその意味を確認する **【東京書籍のサイトの音声を活用】**

- ① 声を出して単語を発音してみよう。
- ② 声に出したり、書いたりして単語やその意味を覚えよう。

Step 2

Step1 で使った Unit1Part2 の本文プリントに書き写した教科書本文の日本語訳を考え、プリントに書き込む
【東京書籍のサイトの音声を活用】

- ① 教科書の本文を音読してみよう。
- ② 分からない単語は辞書を使って調べよう。
- ③ 文の前から順に意味を考えていこう。

日本語訳の記入の仕方

Hello, everyone. I'm Ito Kota. I'm
こんにちは、みなさん。私は伊藤光太です。私は
going to talk about Canada. 私は
話す予定です。 カナダについて

Step 3

ノートにまとめる

- ① ノートの見開き 3 ページ目の左側のページに Unit1Part2 の課題を貼ろう。

Unit1 Pop Culture Then and Now Part3 (教科書 10・11 ページ)

◇課題◇ 教科書 10 ページの本文の内容を理解しよう
(ノートは見開き 4 ページ目を使う)

Step 1

4月8日に配布した Unit1Part3 の本文プリントに書き出した単語とその意味を確認する **【東京書籍のサイトの音声を活用】**

- ① 声を出して単語を発音してみよう。
- ② 声に出したり、書いたりして単語やその意味を覚えよう。

Step 2

Step1 で使った Unit1Part3 の本文プリントに書き写した教科書本文の日本語訳を考え、プリントに書き込む
【東京書籍のサイトの音声を活用】

- ① 教科書の本文を音読してみよう。
- ② 分からない単語は辞書を使って調べよう。
- ③ 文の前から順に意味を考えていこう。

日本語訳の記入の仕方

Hello, everyone. I'm Ito Kota. I'm
こんにちは、みなさん。私は伊藤光太です。私は
going to talk about Canada. 私は
話す予定です。 カナダについて

Step 3

教科書 11 ページの【Q&A】と【Think】にチャレンジ

- ① 【Q&A】をやってみよう。難しい場合は日本語で答えても OK です。
- ② 【Think】をやってみよう。いきなり英語で考えずに、日本語で考えてみるのもいいですよ。教科書の本文をどんどん活用して考えよう。

Step 4

ノートにまとめる

- ① ノートの見開き 4 ページ目の左側のページに Unit1Part3 の課題を貼ろう。

Unit1 Pop Culture Then and Now Part4 (教科書 1 2 ・ 1 3 ページ)

◇課題◇ make+A+B 文を理解しよう (ノートは見開き 5 ページ目を使う)

Step 1

4月8日に配布した課題 (Unit1-4 make の文) の文法プリントの説明をもう1度確認する

- ① 穴埋めになっている問題の英文を声に出して読んでみよう。

Step 2

教科書 1 3 ページの【基本練習】に取り組む

- ① 例を参考に【基本練習】の1~3の英文を完成させよう。
- ② 完成した英文を声に出して言ってみよう。
- ③ 教科書の空いている所に英文で書いてみよう。

Step 3

ワーク 9 5 ページの 1 の問題を解く

- ① ワーク 9 5 ページの 1 「call [make]+A+B の文」を解いて丸付けをしよう。
- ② 難しかったり分からなかった問題には、自分が分かるようにチェックを入れて、あとで先生に質問できるようにしておこう。

Step 4

e-ライブラリを活用して理解を深めよう

- ① make+A+B の用法の解説を見たり問題を解いたりして理解を深めよう。

Unit1 Pop Culture Then and Now Part4 (教科書 1 2 ・ 1 3 ページ)

◇課題◇ 教科書 1 2 ページの本文の内容を理解しよう
(ノートは見開き 5 ページ目を使う)

Step 1

4月8日に配布した Unit1Part4 の本文プリントに書き出した単語とその意味を確認する **【東京書籍のサイトの音声を活用】**

- ① 声を出して単語を発音してみよう。
- ② 声に出したり、書いたりして単語やその意味を覚えよう。

Step 2

Step1 で使った Unit1Part4 の本文プリントに書き写した教科書本文の日本語訳を考え、プリントに書き込む
【東京書籍のサイトの音声を活用】

- ① 教科書の本文を音読してみよう。
- ② 分からない単語は辞書を使って調べよう。
- ③ 文の前から順に意味を考えていこう。

日本語訳の記入の仕方

Hello, everyone. I'm Ito Kota. I'm
こんにちは、みなさん。私は伊藤光太です。 私は
going to talk about Canada. 私は
話す予定です。 カナダについて

Step 3

教科書 1 3 ページの【Q&A】にチャレンジ

- ① 【Q&A】をやってみよう。難しい場合は日本語で答えても OK です。

Step 4

ノートにまとめる

- ① ノートの見開き 5 ページ目の左側のページに Unit1Part4 の課題を貼ろう。